

れい わ ねん ど
令和 8 年度

きゅうぞう えん せ こうかん り ぎ じゅつ けん てい
1 級 造園施工管理技術 検 定

だい いち じ けん てい し けん もん だい
第一次 検 定 ・ 試 験 問 題 A

つぎ ちゅう い よ かいとう
次の 注 意をよく読んでから解答してください。

ちゅう い
【注 意】

1. これは第一次検定の試験問題Aです。表紙とも10枚あります。

えんぴつ または シャープペンシルで、解答用紙（マークシート）に試験地、氏名、受験番号を記入してください。

じゅけんばんこう がいう すう じ まんねんひつ しよう ふ か
受験番号は該当する数字をぬりつぶしてください。（万年筆・ボールペンの使用は不可）

2. 問題は全て必須です。36問題全部を解答してください。

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

かいとうよう し
解答用紙は

となっていますから、

もんだいばんこう たいおう かいとう き にゅうらん せいかい おも すう じ
問題番号に対応する解答記入欄の正解と思う数字をぬりつぶしてください。

なお、正解は一つしかないの、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

かいとう かた かいとうよう し かいとう き にゅうれい かた さんしょう
解答のぬりつぶし方は、解答用紙の解答記入例（ぬりつぶし方）を参照してください。

かいとう ていせい ば あい け け ていせい
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。

3. 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。

4. 試験問題の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。

5. 解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。試験監督者に直接提出してから退室してください。

6. 試験問題は、試験終了時刻（12時30分）まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

※ 問題は全て必須ですから、36 問題全部を解答してください。

〔問題 1〕 日本庭園に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 平安時代には、阿弥陀堂や金堂などの前面に池を配し、ハスを植えるなどして極楽浄土を表現しようとした浄土式庭園が作庭された。その様式による庭園の一つに、毛越寺庭園がある。
- (2) 室町時代には、石組を主体として、白砂やコケなどで自然景観を象徴的に表現する枯山水式庭園が作庭された。その様式による庭園の一つに、大徳寺大仙院庭園がある。
- (3) 安土桃山時代には、巨大な庭石や色彩豊かな色石などを多く使用した庭園が作庭された。その様式による庭園の一つに、醍醐寺三宝院庭園がある。
- (4) 江戸時代には、大規模な池泉を中心に、露地や枯山水の様式を組み合わせ、歩きながら移り変わる景観を觀賞する池泉回遊式庭園が作庭された。その様式による庭園の一つに、西本願寺大書院庭園がある。

〔問題 2〕 西洋庭園に関する「様式」と「技法」及びその技法の「解説」の組合せとして、**適当なものはどれか。**

- | (様式) | (技法) | (解説) |
|------------------|-------|---|
| (1) フランス平面幾何学式庭園 | カスケード | 建物に囲まれた中庭型空間につくられる、噴水等の水、花、タイルの模様舗装を基本要素とする手法。 |
| (2) イギリス風景式庭園 | ハハア | 庭園と外部との境界部を、掘割等を用いることにより、視覚的に連続したまま境界を区切る手法。 |
| (3) イタリア露壇式庭園 | パティオ | ある視点から目的となる対象に向かって視線が誘導されるような軸線をもった、風景及びその構成手法。 |
| (4) スペイン-サラセン式庭園 | ビスタ | 自然の斜面を利用した、整形的・建築的な階段状あるいは斜面状の滝や流れを設ける手法。 |

〔問題〕 3) 土 壤 に関する記 述 のうち、適 当 でないものはどれか。

- (1) 土 壤 の三相分布は、固相、液相及び気相の三相を容積割合で表 したものであり、土 壤 の保水性や通気性、植物の根の伸 長 などに関係する。
- (2) 土 壤 水のうち、植物が吸 収 可能な有効水には、土 壤 中の孔隙を移動する重 力水と、土 壤 粒子表面に吸 着 している吸 湿水がある。
- (3) 土 壤 が酸性化すると、可溶化したアルミニウムなどがリン酸と結合して難溶性の化合物となるため、植物はリン酸欠乏を起こしやすくなる。
- (4) 土 壤 の pH は、土 壤 の化学性を特徴 づける基本的な項目であり、一般に中 性ないし微酸性であれば植物の生育に適している。

〔問題〕 4) 土 壤 改良材に関する記 述 のうち、適 当 でないものはどれか。

- (1) ピートモスは、ミズゴケなどを主体とする高位泥炭であり、土 壤 の保水性を改善する効果がある。
- (2) ゼオライトは、高炉スラグに珪石などを添加し、高温で繊維 状 に加工したものであり、土 壤 の保水性を改善する効果がある。
- (3) 真珠岩パーライトは、真珠岩を焼 成加工したものであり、土 壤 の保水性を改善する効果がある。
- (4) バーミキュライトは、ひる石を粉碎し、高温で焼 成したものであり、土 壤 の保肥力を改善する効果がある。

〔問題〕 5) 樹木の病 害に関する記 述 のうち、適 当 なものはどれか。

- (1) てんぐす病 は、枝の一部が膨らんでこぶ 状 となり、その先から小枝が多数ほうき 状 に伸び、被害部がしだいに枯れる。
- (2) こぶ病 は、花卉や新葉が袋 状 や耳たぶ 状 に膨らみ、白粉に覆われ、被害部分はやがて腐る。
- (3) うどんこ病 は、葉や花卉に色の濃淡のモザイク・壊死斑が現れ、葉身のよじれ・葉や花の奇形等が生 じる。
- (4) こうやく病 は、主に葉の表面に灰白色ないし緑灰色の小斑を生 じ、徐々に放射 状 に広がり、菊斑 状 の斑紋になる。

〔問題 6〕 植生に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 潜在自然植生とは、ある土地の植生に対する人為的干渉が全て停止されたとき、その土地の環境条件が支えることができると推定される自然植生をいう。
- (2) 一次遷移とは、火山の溶岩流の上など、生育基盤となる土壌が全く形成されていない場所ではじまる遷移をいう。
- (3) 代償植生とは、遷移の終局段階に見られる、その土地の環境条件下で種組成や構造が永続的に安定した植生をいう。
- (4) 二次林とは、自然林が伐採や山火事などで破壊された後に自然に成立した森林であり、主に陽樹からなり、萌芽更新などによる薪炭林などとして活用されてきた。

〔問題 7〕 花壇に用いられる植物に関する組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (1) 春播き一年草 —— キキョウ、サルビア、フリージア
- (2) 秋播き一年草 —— ヒナゲシ、パンジー、ワスレナグサ
- (3) 宿根草 —— アネモネ、ケイトウ、ジャーマンアイリス
- (4) 球根草花 —— キンセンカ、フクジュソウ、ヤマユリ

〔問題 8〕 芝草に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) イタリアンライグラスは、寒地型で、日陰でも良く育ち、牧草や法面の緑化などに使われる。
- (2) ケンタッキーフューグラスは、寒地型で、春から秋にかけて旺盛に伸び、耐暑性や耐乾性に劣り、公園や運動競技場利用される。
- (3) コウライシバは、暖地型で、踏圧、刈込によく耐え、ゴルフ場のフェアウェイ、公園、庭園などに利用される。
- (4) ノシバは、暖地型で、小型で密に生育するため、小庭園などに使われるほか、鉢植えにして鑑賞に用いられる。

〔問題 9〕 石材の基本的性質に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 安山岩は、火成岩であり、耐火性が大きい。主な石材として、鉄平石がある。
- (2) 花崗岩は、火成岩であり、磨いても光沢を生じにくい。主な石材として、六方石がある。
- (3) 凝灰岩は、変成岩であり、耐火性が小さい。主な石材として、大谷石がある。
- (4) 閃緑岩は、堆積岩であり、磨くと美しい光沢を生じる。主な石材として、稲田石がある。

〔問題 10〕 造園材料に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) マダケは、強靱で弾力性に富み、曲げやすく細割りに適している。
- (2) 木材は、温度変化による膨張や収縮は大きいですが、含水率の変化による膨張や収縮は小さい。
- (3) 穴あきれんがは、材質は普通れんがと同じであり、断熱・防音に効果がある。
- (4) 硬質ポリ塩化ビニル管は、耐腐食性に優れ軽量で施工性がよく、電気絶縁性にも優れている。

〔問題 11〕 日本庭園における役木に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 夕陽木は、南庭の西側に植栽される樹木で、ウメ、サクラ、カエデなどが用いられる。
- (2) 見越しの松は、庭の背景を構成し、前面の景を引き立てる役割を持つ樹木で、マツ以外にも、モミヤコウヤマキなどが用いられる。
- (3) 景養木は、枝葉が橋上に差しかかり、水面に影を落とすように橋の手前に植栽する樹木で、カエデ、シダレヤナギなどが用いられる。
- (4) 滝囲いの木は、滝口に深みを与えるために、滝組の背後に植える樹木で、マツ、ヒノキ、カシなどが用いられる。

〔問題 12〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 公園の広場に植栽する樹高4.0 m、幹周0.4 mのクスノキに三脚鳥居型支柱を用いた。
- (2) 公園の外周に沿って列植する樹高6.0 m、幹周0.4 mのクロガネモチに丸太布掛支柱を用いた。
- (3) 通行人の多い駅前広場に植栽する樹高3.0 m、幹周0.15 mのハナミズキにワイヤーで根鉢を固定する地下支柱を用いた。
- (4) 歩道の植樹帯に植栽する樹高3.5 m、幹周0.15 mのヤマボウシに添え柱支柱を用いた。

〔問題 13〕 造園樹木の剪定に関する記述のうち、**適当なものはどれか。**

- (1) 常緑樹を剪定する際は、蓄積された物質等の損失や消費が少ない時期に行うことが望ましいことから冬期に行う方がよい。
- (2) 生垣の刈込みは、裾を美しい線に保つため、下枝より上枝を強く刈り込むようにし、時には深く切戻しを行う。
- (3) 枝おろし剪定は、主に樹冠の整正のために行い、樹冠外に飛び出した新生枝を、樹冠の大きさが整う長さの定芽の真上の位置で剪定する。
- (4) 切詰め剪定は、落葉樹の骨格づくりをする場合などに行い、大枝のブランチカラーを残して切り取る。

〔問題 14〕 当年枝に花芽分化し、翌年に開花する花木として、**2種とも該当するものはどれか。**

- (1) ムクゲ、ツバキ
- (2) ハナミズキ、サルスベリ
- (3) シモツケ、キンモクセイ
- (4) シャリンバイ、コデマリ

〔問題 15〕 飛石と延段の施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 飛石の打ち方には二連打ちや千鳥打ち等の方法があり、石と石の間隔は10 cm 程度を目安とする。
- (2) 飛石の分岐するところに打つ大きめの石を踏分石といい、伽藍石や石臼を使うことがある。
- (3) 延段の目地は、1～1.5 cm 程度の幅とし、四つ目地や八つ巻きを避ける。
- (4) 延段の施工手順は、中央部の石を据えてから、高さをそろえながら周辺部に向かって石を張り付ける。

〔問題 16〕 高齢者、障害者の利用に配慮した公園施設の設計・施工に関する記述のうち、国土交通省令で定める都市公園移動等円滑化基準に**適合しないもの**はどれか。

- (1) 園路の出入口について、車止めを有効幅90 cm の間隔で設置し、車止めの前後に長さ150 cmの水平面を設けた。
- (2) 階段について、高齢者や杖使用者などに配慮して、階段の両側に、上段85 cm、下段65 cmの高さの2段の手すりを連続して設けた。
- (3) 階段に代わり傾斜路を設け、縦断勾配を10 %、横断勾配を2 %とした。
- (4) 駐車場について、車いす使用者が円滑に利用できるように幅を350 cmとし、駐車施設の後部に有効幅120 cmの通路を設けた。

〔問題 17〕 運動施設に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) サッカー場の長軸を南北方向にとり、フィールドの排水勾配を中心から周辺に向かって0.5 %とした。
- (2) サッカー場のフィールドの天然芝舗装について、表層(床土)の下に設ける中層に火山砂利を用いた。
- (3) 陸上競技場の長軸を南北方向にとり、メインスタンドを東側に設けた。
- (4) 陸上競技場のトラックの透水性の全天候型舗装について、表層にゴムチップウレタン系透水性表層材を、基層に開粒度アスファルト混合物を用いた。

〔問題 18〕 運動施設に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 硬式テニスコートの照明を、ベースラインの後方にそれぞれ1基ずつ配置し、照明器具の最下段の取付け高さは5mとした。
- (2) 硬式テニスコートのクレイ舗装について、表層に荒木田土を、下層にクラッシャーランを用いた。
- (3) 野球場について、方位は競技者を主体とするため本塁を北にとり、内野の排水勾配は投手板より各塁線に向かって緩やかな傾斜をつけた。
- (4) 硬式野球場のバックストップ（バックネット）の位置を、本塁から20mの距離をとった位置とした。

〔問題 19〕 遊具の設置に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 接地面から回転軸までの高さが2.5mの一方方向ぶらんこを設置する際、運動方向の安全領域を2.5mとした。
- (2) すべり台を設置する際、滑降面について、有効幅を40cm、滑降部の傾斜角度を水平に対して30度とした。
- (3) シーソーの設置に当たり、腕部を水平にした状態での座面の高さを設置面から55cmとした。
- (4) ネットクライマーを設置する際、ネットの網目で構成された開口部について、子供の頭部又は胴体の挟み込みが発生しないように、φ230mmの検査器具が通り抜けられる大きさとした。

〔問題 20〕 日本庭園における滝及び流れの役石に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 脇石は、滝の役石であり、水落石の両側に据え、守護石とも呼ばれる。
- (2) 底石は、滝の役石であり、滝つぼに置き、落水による音やしぶきを表現する。
- (3) 横石は、流れの役石であり、瀬を作るため流れの幅を狭めるように置く。
- (4) 水越石は、流れの役石であり、水がその表面を薄く乗り越えて流れるように設ける。

- 〔問題 21〕 13,500 m³ の盛土の造成を行う場合、土取場より「掘削すべき地山土量」及び運搬に必要な「ダンプトラックの延べ台数」の組合せとして、**適当なもの**はどれか。
- ただし、条件は以下のとおりとする。

〔条件〕

- ・土量の変化率 $L = 1.20$ $C = 0.90$
- ・ダンプトラック 1 台当たり積載量 5 m³ (ほぐした土量)

	(掘削すべき地山土量)	(ダンプトラックの延べ台数)
(1)	15,000 m ³	3,240 台
(2)	15,000 m ³	3,600 台
(3)	16,200 m ³	3,240 台
(4)	16,200 m ³	3,600 台

- 〔問題 22〕 コンクリートの施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 日平均気温が 4℃ 以下になることが予想されたので、所要のワーカビリティが得られる範囲内で、単位水量をできるだけ少なくした。
- (2) 2 層以上に分けてコンクリートを打ち込む際、コンクリートの 1 層の打ち込み高さを 45 cm として棒状バイブレータによる振動締め固めを行った。
- (3) 普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートの養生に当たり、日平均気温が 10℃ 以上 15℃ 未満の日が続いたので、湿潤養生期間を 5 日とした。
- (4) 仕上げ作業後、コンクリートが固まり始めるまでの間に発生したひび割れは、こてを用いたタンピングによって修復した。

〔問題 23〕 擁壁に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、正しいものは「正」、誤っているものは「誤」として、適切な組合せはどれか。

(イ) もたれ式擁壁は、地山または切土部にもたれた状態で自重のみで土圧に抵抗する形式の擁壁であり、基礎地盤が良好で、背面の地山や切土部が比較的安定している場合に用いられる。

(ロ) 重力式擁壁は、躯体自重により土圧に抵抗する形式のコンクリート製の擁壁であり、一般に高さ10m以上の擁壁として用いられる。

- | (イ) | (ロ) |
|-------|-----|
| (1) 正 | 正 |
| (2) 正 | 誤 |
| (3) 誤 | 正 |
| (4) 誤 | 誤 |

〔問題 24〕 次の条件により、合理式を用いて雨水流出量 (m^3/sec) を計算した場合の値として、正しいものはどれか。

〔条件〕

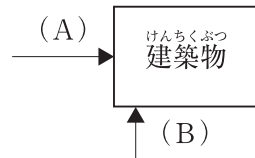
- ・流出係数：0.25
- ・降雨強度：80 mm/h
- ・排水面積：7.2 ha

- (1) 0.04 (m^3/sec)
- (2) 0.4 (m^3/sec)
- (3) 2.4 (m^3/sec)
- (4) 6.4 (m^3/sec)

〔問題 25〕 茶室及び露地に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 中柱とは、茶室が台目切の場合に、点前座と客座との間の炉隅に立てる柱をいう。
- (2) 踏分石とは、露地に設ける飛石の中で、分岐する所に据えられる大ぶりの飛石をいう。
- (3) 客石とは、露地に設ける飛石の中で、客が亭主に挨拶する際に乗る石で、中潜りの外露地側に据えられる役石をいう。
- (4) 砂雪隠とは、外露地に設けられる装飾用の便所をいう。

〔問題 26〕 建築物を下図に示す(A)、(B)の2方向から見た場合の「屋根の形状(模式図)」と、その「形式」を表す語句の組合せとして、**適当なものはどれか。**



[屋根の形状 (模式図)]

[形式]

(A)

(B)

- | | | | |
|-----|--|--|---------|
| (1) | | | —— 陸屋根 |
| (2) | | | —— 越屋根 |
| (3) | | | —— 寄棟屋根 |
| (4) | | | —— 切妻屋根 |

〔問題 27〕 公園内の電気設備工事に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 低圧架空引込線を公園の敷地内へ引き込む際、車両が通行する園路を横断する箇所では、路面から引込線までの高さを5.0m確保した。
- (2) 地中配管のケーブルを建物外壁に沿って立ち上げる際、地表上1.5mの高さまで保護管に収め、保護管の端部には雨水の浸入防止用カバーを取り付けた。
- (3) 照明灯の接地極を、建物の避雷針の接地極およびその裸導線の地中部分から3.0m離して埋設した。
- (4) 単心の低圧ケーブルを曲げて敷設する際、被覆が損傷しないように行い、曲げ半径を仕上がり外径の8倍とした。

〔問題 28〕 給水工事に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 配水管から分水栓によって給水管を取り出す際、配水管の強度が低下しないよう、他の給水管の取付口の位置から20cm離して設置した。
- (2) 水路を横断して給水管を布設する際、流下物などによる給水管の損傷を避けるため、給水管を鋼管のさや管に入れて水路の下に設置した。
- (3) 鳥居配管の凸部において、通水障害となる空気だまりを生じさせないよう、空気弁を設置した。
- (4) 給水管の布設工事において1日の工事が終了した際、汚水などが流入しないよう、管端にプラグで栓をした。

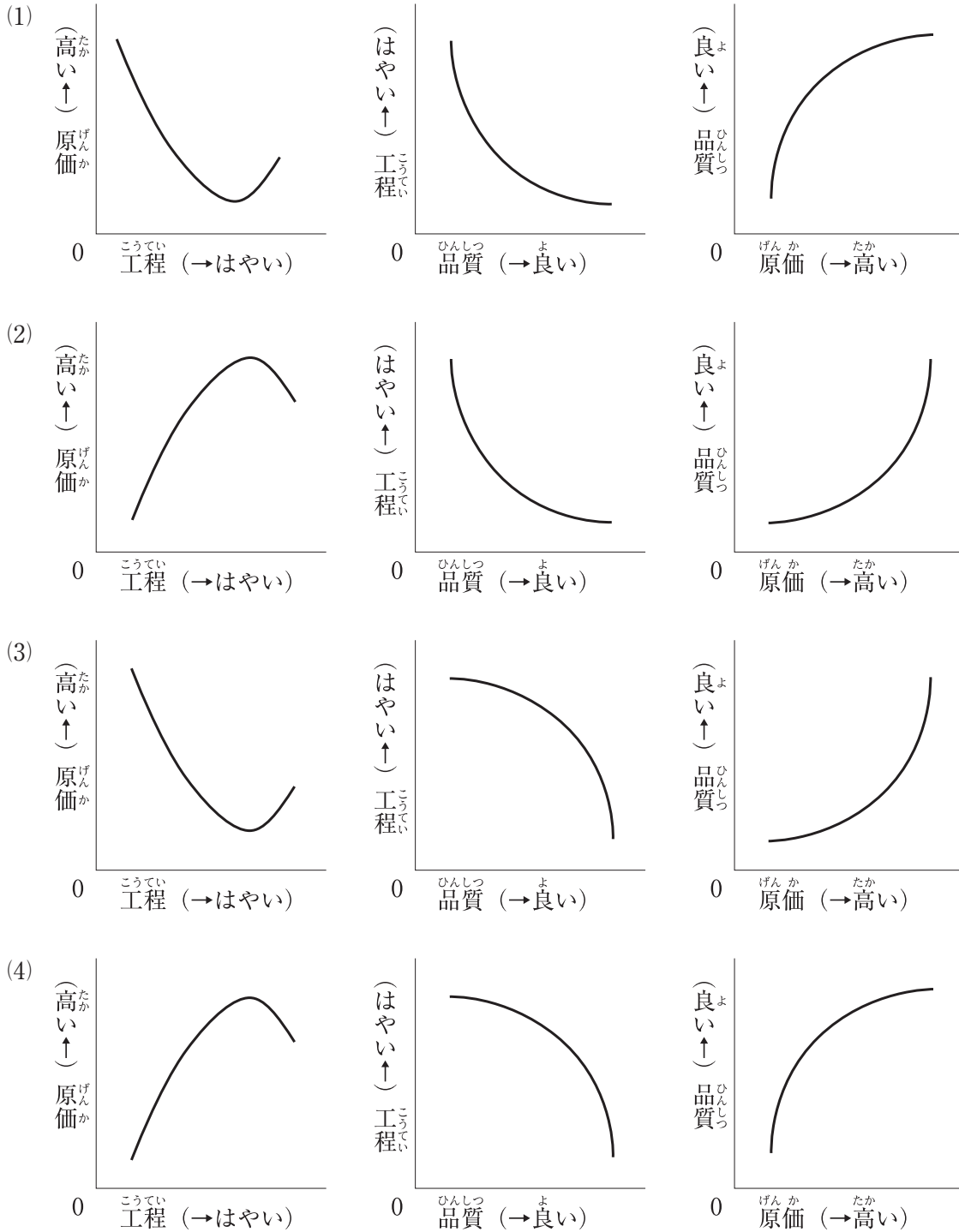
〔問題 29〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 発注者及び受注者は、約款に定める催告、請求、通知、承諾及び解除は、書面により行わなければならないが、申出及び報告については口頭で行うことができる。
- (2) 監督員は、工事の施工部分が設計図書に適合しないと認められる相当の理由がある場合、受注者の負担において、施工部分を最小限度破壊して検査することができる。
- (3) 発注者は、受注者が工事に伴い通常避けることができない騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等の理由により第三者に損害を及ぼした場合、原則として、その損害を負担しなければならない。
- (4) 発注者は、工事目的物の引渡し前でも、受注者の承諾を得て工事目的物の全部又は一部を使用することができる。

〔問題 30〕 公共工事における請負工事費のうち、現場管理費に含まれるものはどれか。

- (1) 防護柵や保安灯などの安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用
- (2) 出来形管理のための測量に要する費用
- (3) 現場従業員に関する建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額
- (4) 建物、車両、機械装置、事務用備品の減価償却費

〔問題 31〕 ^{もんだい} 工程, 原価, 品質の一般的な関係を示した図の組合せとして, ^{こうてい} 工程, ^{げん か} 原価, ^{ひんしつ} 品質の一般的な関係を示した図の組合せとして, ^{いっぱんてき} 適切なものはどれか。



〔問題 32〕 施工計画に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 資材計画の立案に当たっては、材料や仮設材を使用予定に合わせて現場に搬入し、材料や仮設材の不足による手待ち時間の発生をできるだけ減らすよう検討する必要がある。
- (2) 環境保全計画の立案に当たっては、資材の運搬経路として、通勤通学などの歩行者が多く、歩車道が分離されていない道路をできるだけ避けるよう検討する必要がある。
- (3) 安全管理計画の立案に当たっては、職種別の所要人数を算定する際、1～2割の割増しを行い、病欠などによる工程の遅れを防ぐことができるよう検討する必要がある。
- (4) 出来形管理計画の立案に当たっては、施工過程での測定値などのデータを速やかに整理・処理し、その結果を常に現在の施工に反映することができるよう検討する必要がある。

〔問題 33〕 土工に用いる建設機械に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 振動コンパクタは、一般にハンドガイド式が多く、小型軽量である特徴を活かし、狭い箇所、路床や構造物の裏込めなどの締固めに用いられる。
- (2) バックホウは、硬い土質をはじめ各土質に適用でき、垂直掘りや底ざらいなどを精度よく施工することができる。
- (3) レーキドーザは、表土を残して草木や樹木の根などを処理するのに適しており、原野を切り開くための抜根作業に用いられる。
- (4) ロードローラは、路体の敷均しと転圧の一貫作業を行う機械であり、均一な粒径の砂質土あるいは含水比の高い粘性土の締固めに効果的である。

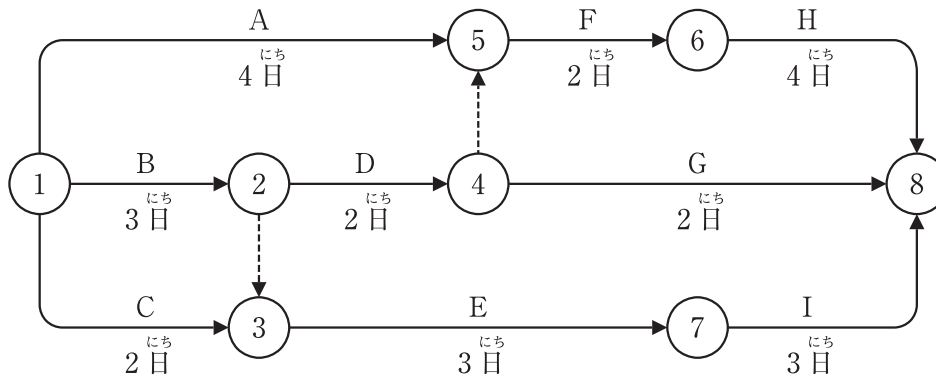
〔問題 34〕 工程計画を立てる際の計算式のうち、**適当なものはどれか。**

- (1) (作業可能日数) = (暦日の日数) - (定休日)
- (2) (建設機械の1日平均作業時間) = (1日当たり運転員の拘束時間) - (1日当たり修理時間)
- (3) (運転時間率) = (1日当たり運転時間) / (1日当たり運転員の拘束時間)
- (4) (作業員の稼働率) = (全実作業量) / (全作業員数)

〔問題 35〕 「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づく
 施工体制台帳及び施工体系図に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 施工体制台帳には、台帳の作成義務のある建設業者及び当該工事の施工にあたる全ての
 下請負人の健康保険等の加入状況を記載しなければならない。
- (2) 発注者から直接、公共工事を受注した建設業者が、当該工事を施工するために下請契
 約を締結したときは、下請契約の請負代金の額にかかわらず、施工体制台帳を作成しなけ
 ればならない。
- (3) 施工体制台帳は、工事現場の最寄りの営業所に備え置き、発注者から請求があれば閲覧
 に供しなければならない。
- (4) 施工体制台帳を作成した建設業者は、完成図や発注者との打合せ記録簿とともに施工体
 系図を工事目的物の引渡しから10年間保存しなければならない。

〔問題 36〕 下図に示すネットワーク式工程表で表される工事において、Aの工事を2日短縮
 し、Dの工事を1日短縮し、Hの工事を2日短縮すると、全体工期は**何日短縮**され
 るか。
 ただし、図中のイベント間のA～Iは作業内容を、日数は作業日数を表す。



- (1) 1日
- (2) 2日
- (3) 3日
- (4) 4日